

組織・グループ名	『めづるくらし』研究会
活動区分 ※いずれか1つに○をつける	<p>● 一般助成 〔 ①当事者支え合い・当事者支援の促進 ②地域福祉ニーズ（課題）への対応 ③福祉の学び（参加型福祉教育）の推進 ④福祉コミュニティの構築 〕</p> <p>● 協働事業助成 〔 1. 福祉教育・ボランティア学習プログラム構築に係る先駆的な活動 2. 地域住民、関係機関・団体の福祉意識の醸成を基盤とし、幅広い世代の社会参加推進に係る先駆的な活動 〕</p>
助成事業名	神奈川県在住の「高齢者・障がいのある人」のためのお出かけ・旅行のサポート支援事業

助成事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入すること。  
事業の目的と概要

- 1) 近所（通院や百貨店など）から（国内外への）旅行まで、専門の〈人的支援サポーター（旅サポーター）〉が一人ひとりに寄り添っての、安全かつ安心なお出かけサポート支援（外出支援活動／人的支援活動）
- 2) (福祉関連事業者から介護経験者、未経験者から一般の興味のある人までが行える) 専門の〈人的支援サポーター〈旅サポーター〉〉の育成（育成支援活動）
- 3) 〈旅サポーター〉との外出体験、勉強会・交流会などの実施によって「高齢者・障がいのある人」が「お出かけ・旅行」をあきらめなくてよい環境作り。また、情報誌の発行、インターネットによる神奈川県福祉専用サイトの設置と情報の発信（自立支援活動）

主な活動・取り組み

▼1年を通して新型コロナ感染拡大や外出自粛という状況の中において

【春】は、必要な外出時の「〈旅サポーター〉の利用内容と申込方法」から「〈旅サポーター〉になるには」などの案内を中心に総合的な広報活動を行いました。

【夏】は、「Go To トラベル」開始にあわせて、『めづるくらし』研究会（以下『研究会』）の関係各社などとの連動により、「着地サポートのメリット」とあわせて、日本全国の旅行や、〈旅サポーター〉利用希望者への窓口として、個々に応じたプランやサービスの提供などを行いました。

【秋】は、各種展示会や催事の開催にあわせて、『研究会』としては初めての試みとして、〈旅サポーター〉とともに参加、見学会・勉強会を行い、最新福祉機器に触れるなど、新生活を学ぶきっかけとなりました。



【冬】は、生活に必要な外出支援として「買い物・通院・散歩」などでの〈旅サポーター〉利用を勧めるための情報提供を行いました。  
←展示会場では、徹底したコロナ対策。

- 1) 〈旅サポーター〉体験会、勉強会・交流会の開催  
東京ビックサイトなどで行われる各種展示会や催事に参加（8回）。福祉メーカーや開発担当者などとの交流会の中、福祉機器利用者と開発・製作担当者との間で、双方向での有意義な情報交換の場ともなりました。

- 2) 高齢者・障がいのある人に向けた情報発信・情報提供による広報活動

▼〈神奈川県・福祉支援活動〉専用のホームページを設置し、また Facebook などの SNS による様々な情報公開などを継続的に発信しています。

▼冊子『めづるくらし』や、〈旅サポーター〉ガイドブックを発行しました。同時に『研究会』発行の情報誌などもホームページにてすべて公開しています。

また、2020.9月『福祉タイムズ』『福祉最前線』に『研究会』の取り組みなどが紹介、掲載されました。

↓『めづるくらし』研究会・ホームページ  
<http://meduru.webcrow.jp/index.html>



↑切り撮るミニマガジン『めづるくらし』Vol.07

↑特別編集版  
『〈旅サポーター〉』ガイド・ブック